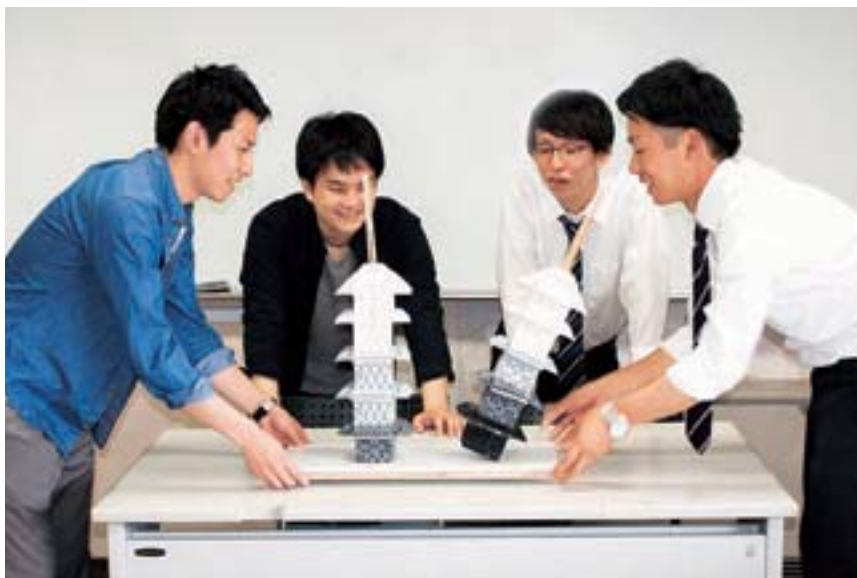


◆ 学びのポイント

1

ものづくりに関する幅広い分野について学ぶ

中学校技術・家庭(技術分野)は木材加工、金属加工、機械、電気、情報、栽培の6つの分野から構成されています。本専修ではこれらの幅広い分野について基礎から応用まで学びます。



2

ものづくりに必要な理論を身に付ける

ものづくりを正しく行うには理論的基礎を身に付けておく必要があります。本専修では木材工作理論、金属工作理論、機構学、電気基礎、情報基礎、栽培学原論など、ものづくりに関する多数の講義科目を開講しています。

3

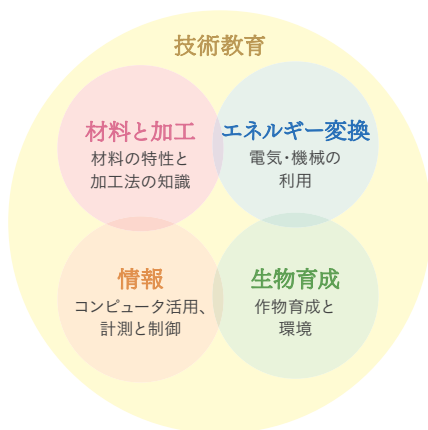
ものづくりの実習を通して実践力を身に付ける

本専修には材料工作実習、金属工作実習、機械実験実習、電気実験実習、情報技術実習、栽培実習など多数の実習科目があります。これらの実習を通して工作や栽培の実践力を培います。特に少人数による徹底した実習によって、高い技能を身に付けることを特長としています。

◆ 学びの領域

4本柱で支える技術教育

技術教育の4本の柱をバランスよく学びます。



「技術立国ニッポン」を支える「ものづくり」を推進する高い技術力を備えた教員を養成します。

技術教育専攻の授業スケジュール

【3回生前期の一例】

My Schedule

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1・2時限				教育実習・事前指導	
3・4時限	情報技術演習	材料工作設計	中等教科教育法Ⅰ(工業)	教育実習・事前指導	技術史
5・6時限		初等教科教育法(国語)		機械設計製作	生徒指導・教育相談Ⅱ
7・8時限	電気実験実習	初等教科教育法(社会)		中等教科教育法Ⅲ(技術)	金属工作実習
9・10時限					



情報技術演習

Excel VBAを用いてプログラミング演習を行っています。



材料工作設計

木製品の設計を行うにあたって必要な基本的事項を学び、製作過程で設計が重要であることを理解します。今回は額縁を製作しています。

Student's Voice

在学生の声

「技術科でしか得られない経験と知識」



技術教育専修3回生

壺内 怜さん

(愛媛県立今治西高等学校出身)

技術教育専修では木材加工、金属加工、機械、電気、栽培、情報の6つの柱のもとで幅広い授業が展開されており、専門的な知識や技能を身につけることができます。

本専修の魅力としてはまず、様々な分野で実習系の授業があり体系的に学ぶことができます。例えば、木材を用いて自分の好きなものを製作、トウモロコシやサツマイモの栽培、プログラミングなど幅広く学ぶことができます。また、他の専修と比べて少人数で学ぶため切磋琢磨しながら共に高め合える環境が用意されており、先輩や先生方も親身になって相談に乗ってくれます。

「技術が苦手・・・」という方でも技術が大好きになります。みなさんを技術教育専修でお待ちしています！

主な開講科目

木材工作理論／ものづくり学／栽培学原論／電気基礎
機械実験実習／情報技術実習／情報基礎／栽培実習
電気実験実習／金属工作実習／材料工作設計／栽培環境学

取得できる免許状

・[中等教育履修分野]中学校教諭一種(技術)等
(P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照)

卒業後の主な進路

中学校教諭(技術)、小学校教諭、高等学校教諭(工業)が主な進路です。その他、公務員、企業、大学院への進学など、活躍の場は幅広くあります。

教員および専門分野(令和2年5月1日現在)

- ・世良 啓太専任講師／技術科教育・機械金属
技術科教育における指導方法の研究開発
- ・谷口 義昭特任教授／技術科教育・木材加工
技術科教育教材の開発研究
- ・箕作 和彦准教授／栽培
栽培技術の研究と開発
- ・藪 哲郎教授／電気・情報
電気・情報分野の教材開発